

1. 科目名 (単位数)	比較文化学演習 (2 単位)	3. 科目番号	EJJP3382
2. 授業担当教員	古田 高史		
4. 授業形態	講義、ディスカッション、プレゼンテーション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	比較文化とは、他文化を通して自文化を客観的にみつめ、それぞれの文化がもつ固有性や共通性をみていく学問領域である。文化を比較するといっても各文化のもつ背景は一樣ではないため単純に比較することはできないが、比較は物事の本質や性質を認識するための方法の一つである。 本講義では、比較文化の入門書をテキストとして使用する。「比較日本文化論」のテキストでも扱った文献をはじめ、複数の文献が取り上げられている。テキストで扱う内容については、履修者の意見も取り入れながら、調整して進めていきたい。		
8. 学習目標	1. 表面的な差異だけでなく、文化間の交差や文化受容などについて理解することができる。 2. 異文化の事象を通時的・共時的に考察することができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 毎回の授業で、自らの意見や調べたことをワークシートに記入する。 2. 比較文化の視点から、発表原稿を作成 (全 3 回) する		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】東京外国語大学国際日本研究センター編『日本をたどりなおす 29 の方法 国際日本研究入門』東京外国語大学出版会、2016 年		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 (学習目標) 1. 表面的な差異だけでなく、文化間の交差や文化受容などについて理解することができたか。 2. 異文化の事象を通時的・共時的に考察し、説明することができたか。 ○評定の方法 1. 授業態度 20% : 積極的な参加。私語、居眠り、飲食、携帯電話などの使用は厳禁。 2. グループ・ディスカッション 40% : ディスカッションの結果発表、Work Sheet の提出により評価。 3. レポート 40% : レポート内容、提出期限の遵守により評価。 なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は原則として認められない。		
12. 受講生へのメッセージ	この授業を通して、受講生が身の回りの文化に関心を持ち、各自の関心に応じたテーマを見つけられるように進める。そのため、受講生の関心や状況、受講生数に応じて、扱うトピックなどの調整を行う場合がある。 受講に際して、特に以下の点には注意すること。 1. 欠席、遅刻、早退などせず、積極的に参加すること。 2. 提出物、宿題は必ず提出すること。 3. 授業での配布物はなくさないこと。 4. 教科書は毎回必ず持参すること。 5. 分からないことは、担当教員に必ず質問、確認をすること。 6. 授業に関係のない私語はしないこと。		
13. オフィスアワー	授業内で周知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	授業概要の説明 興味のある文化について	事前学習	興味がある文化について考えてみる。
		事後学習	興味がある文化について知りたいことを書き出してみる。
第 2 回	第 3 章 発表の方法 ポスター発表 日本文化の魅力	事前学習	教科書 pp.92-93 を読み、ポスター発表について確認しておく。
		事後学習	日本文化の魅力について、まとめてみる。
第 3 回	身近な和食について	事前学習	和食について、配布資料を読んでおく
		事後学習	和食の魅力についてまとめてみる。
第 4 回	和食の歴史	事前学習	和食の歴史について、配布資料を読んでおく。
		事後学習	和食の歴史を整理してみる。
第 5 回	和食とグローバル化	事前学習	和食のグローバル化について、配布資料を読んでおく。
		事後学習	和食のグローバル化のメリット、デメリットを書き出してみる。
第 6 回	和食と自分との関わりについての発表	事前学習	テーマを決定し、発表原稿①準備する。
		事後学習	発表原稿を授業での議論をもとに修正する。
第 7 回	第 4 章 発表の方法 ディスカッション メディア・リテラシーについて	事前学習	教科書 pp.118-119 を読み、ディスカッションについて確認しておく。
		事後学習	ディスカッションしてみたいテーマを書き出してみる。
第 8 回	文化変容について ①おみくじ	事前学習	おみくじについて、配布資料を読んでおく。
		事後学習	おみくじの事例から文化変容について、まと

			めてみる。
第9回	文化変容について ②文学作品の翻案	事前学習	文学作品の翻案について、配布資料を読んでおく。
		事後学習	文学作品の翻案の事例から文化変容について、まとめてみる。
第10回	文化変容について ③現代社会	事前学習	現代社会について、配布資料を読んでおく。
		事後学習	現代社会の事例から文化変容について、まとめてみる。
第11回	文化変容についての発表	事前学習	テーマを決定し、発表原稿②準備する。
		事後学習	発表原稿を授業での議論をもとに修正する。
第12回	第6章1 「教育の機会均等」とは何か	事前学習	教科書 pp.148-149 を読み、「教育の機会均等」について、説明してみる。
		事後学習	自らの国の教育事情についてまとめてみる。
第13回	第6章2 米からコメへ-日本社会のなかの米-	事前学習	教科書 pp.152-153 を読み、「日本社会のなかの米」について、説明してみる。
		事後学習	自らの国の農業について説明してみる。
第14回	第6章4 高度経済成長とサラリーマン文化	事前学習	教科書 pp.160-161 を読み、「サラリーマン文化」について、説明してみる。
		事後学習	自らの国の社会的慣行について説明してみる。
第15回	第6章 発表の方法 プレゼンテーション 自国の文化とほかの国や地域との比較	事前学習	教科書 pp.168-169 参考に、対象を決め、データ(文学・絵画・統計・雑誌など)を集め、発表原稿③作成する。
		事後学習	質疑応答を踏まえ、発表原稿を修正する。